

街頭紙芝居とは？

昭和時代の子どもたちが毎日見ていた紙芝居です。短い物語でも20巻、多いものでは数百巻も続く紙芝居は、1枚1枚画家が絵を描いて色を塗り、裏側には作家がマジックやペンで台詞や語りを記し、全て1点しかないオリジナルです。紙芝居師は演じる前に水飴などの駄菓子を売り、子どもたちはそれを食べながら紙芝居を見ていました。子どもたちに毎日楽しんでもらえるように制作された街頭紙芝居は、現代のアニメやマンガ文化の原点とも言えます。

横浜市歴史博物館は、横浜市の有形民俗文化財に指定された街頭紙芝居2695巻を所蔵しています。当館ではこれらの紙芝居を資料として後世に伝えるだけでなく、街頭紙芝居が演じられた当時の雰囲気も継承していきたいと考えています。

本講座は、街頭紙芝居に興味がある方を対象に、その魅力を伝えるとともに、文化を継承する担い手の育成を目的として開講します。

講座の日程と概要

第1回 6月14日(土) 10:30~12:00

「紙芝居で伝える」 片岡直子さん(紙芝居文化推進協議会 理事)

第2回 6月28日(土) 10:30~12:00

「街頭紙芝居の歴史」 刈田均(当館副館長)

第3回 7月 5日(土) 10:30~12:00

「街頭紙芝居の魅力」 現在街頭紙芝居を演じている先輩方が街頭紙芝居の魅力を語ります

第4回 7月12日(土) 13:30~16:00

「街頭で演じる」 街頭紙芝居師じゃんぼさん

第5回 7月26日(土) 10:00~16:00

「街頭紙芝居を見る」(実演街頭紙芝居を選定)

第6回 8月 2日(土) 10:00~16:00

「街頭紙芝居を読む」(実演指導)

第7・8回 8月30・31日(土・日) 9:30~16:00

「街頭紙芝居を演じる」(実演)



講座へのお申込み

対象 街頭紙芝居に興味があり、実際に演じてみたいと考え、講座に全回参加できる方

定員 10名(先着順受付) 締切 6月12日(木)

受講料 5,000円 会場 横浜市歴史博物館

申込方法 当館HPのイベントページから
申込み画面へお進みください。



申込はこちら

30 横浜市歴史博物館

〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-18-1
TEL 045-912-7777 FAX 045-912-7781 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
横浜市営地下鉄「センター北」駅下車 1番出口から徒歩5分 駐車場あり(30分100円)
横浜市歴史博物館は(公財)横浜市ふるさと歴史財団が指定管理者として管理・運営しています。
<https://www.rekihaku.city.yokohama.jp>

